

## 1 振り返りを書かせることの意味

- ①学習後，児童に学習の成果を見い出させ，その自覚を促すため。
- ②教師が児童の学習内容を見取り，指導に活かすため。

## 2 振り返りのさせ方

- ①単元末や単元の中で1回は書かせる。
- ②振り返りカードを提示した後，どの視点（わがともに）で書くのか教師が示す。

- ① わかったこと
- ② がんばったこと
- ③ もだちから学んだこと
- ④ もっと学びたいこと
- ⑤ ちじょう生活に広げられること



視点① 授業のねらいに対する振り返りの視点を示す。

視点② 教師が見取りたい視点を示す。

## 3 振り返りの視点の例

例1：めあて「3けたの数をひくひき算の筆算の仕方を考えよう。」

→新しい考え方を身に付けさせる授業で，児童の学習の理解度を把握する場合は，

① わかったこと を書かせる。

→多くの考え方を出させて交流し，協働的な学びを価値付ける場合は，

③ もだちから学んだこと を書かせる。

→児童の興味・関心を広げる場合は，④ もっと学びたいこと を書かせる。

例2：めあて「ぼうグラフのかき方を復習しよう。」

→粘り強く・試行錯誤しながら学習したかを自覚させたり見取ったりする場合は，

② がんばったこと を書かせる。

例3：めあて「長さの学習の復習をしよう。」

→単元末の学習で，身の回りに関連付けて考えることができるかを見取る場合は，

⑤ ちじょう生活に広げられること を書かせる。